

## 上京区基本計画策定委員会

### 第1回自治・安全部会ワークショップのまとめ

**テーマ：こんな地域に暮りたい、こんな上京区にしたい**

**第1班で出された意見** キーワード：空き家・空き部屋、学生の増加、学生との交流、地域のルールづくり、挨拶・声掛け、地域内の交流

【上京区 学生のすまい】⇒地域社会で学生を育てる姿勢があるといい

○新しいマンション建設に頼らず空き家・空き部屋を活用した地域参加型の現代風下宿を展開する

《マンション》

- ・マンションが足りない
- ・学生だけのマンションは困る（ちゃんとした大家のワンルームなら大丈夫）
- ・地域に協力してもらってマンションを建てる

《空き家・空き部屋の活用》

- ・同志社大学の学生に上京区の空室に入ってくれないか
- ・母も一人暮らしで片付けられないが、家は広い
- ・空家調査が必要ではないか
- ・学生ワンルームより昔の下宿的やり方が求められる

《学生と住民の付き合いなど》

- ・学生と一緒に暮らすと心強い
- ・有意義な上京での生活を過ごしてもらおう
- ・地域住民と学生の話し合いの場が必要
- ・できるだけ声を掛け合うようにする
- ・学生住民と日頃からお付き合いをする
- ・大家と学生が食事もする
- ・あいさつで顔が見える
- ・町費支払い、ゴミ出しなどのルール作りをする
- ・学生は生活(アルバイトなど)で忙しいという問題がある

【多様な人々のつきあい】⇒多様な人々の交流のため、みんなが集まれる場所・仕組みがあるといい

○学生や新旧住民間の地域交流を促進する

- ・子どもについて、神戸は熱心だが、京都はクールである
- ・上京区内でどの年齢の人、どんなリスクのある人もみんなと同じことをするような場があると良い
- ・ふれあいまつりが既にある。
- ・自治会に入らない人が何らかの行事に関われるようにしたい
- ・出町商店街と学生、旧住民と新住民の交流
- ・(私は自治会に入っていないので)ふれあいまつりに行ったことがなく、地域デビューできていない
- ・エディブルシステム(食べられる植物を育てる組立式花壇を広めようとしている人々がいるらしい)は、かつての地蔵盆かもしれない

- ・地蔵盆や上御霊神社の祭
- ・マンションで BBQ 大会では、マンション建設に当初反対だった近所のおばちゃんがやがて来てくれるようになった
- ・持ちよりの宴会が町内や地域で気軽にできるようになったら楽しい
- ・家の犬がコミュニティー犬化して、近所の子が借りに来る

**【交通安全・防災】⇒防災マップの作成・普及，自転車の安全対策を促進するとい**

○街頭啓発など自転車安全対策を促進する

- ・街頭啓発(ビラ・ティッシュ配り，注意，呼び掛け)
- ・無灯火自転車を減らす
- ・民生委員に協力してもらって解決する

○地域別防災マップの作成

- ・防災マップはあるのか(春日などにはある)
- ・地域の声掛けがあると安心だ

**【その他】**

- ・高齢者向けのマンション

## 第2班で出された意見 キーワード：世代間の交流、世代間格差、子育て、信頼関係、街頭啓発、挨拶・声掛け、安全

【世代間交流について】⇒みんながつながるイベントを創出・継続していくといい

- 上京区全体で多様な世代の交流を促進する
  - ・普段から上京区全体で取り組めるイベントなどがあればよい
  - ・若者がイベント作りに関わる必要がある
  - ・様々な年代の方も参加する
  - ・世代間のつながりを生む場
  - ・住協のイベントの参加者が少ない
  - ・大勢の人が集まるものにする
  - ・内容の工夫が求められているのでは

【子育てについて】⇒子供を地域で見守っていくといい

- 地域で見守る子育て支援を展開する
  - ・親へのアプローチが必要では
  - ・子供の方がしゃべってもらいやすい
  - ・おじいちゃん、おばあちゃんと住み慣れていない
  - ・大家族で面倒を見る
  - ・世代格差が埋まることが必要では

【個人情報の問題について】⇒個人情報保護の壁を乗り越えるため、常日頃のお付き合いがあるといい

- ・個人情報の取り扱いの問題
- ・学区内の名前と電話番号の名簿
- ・電話帳を活用してはどうか
- ・参加してもらえるイベントが定着しつつある
- ・信頼関係が強い

【交通安全について】⇒自転車と共存できるまちが一番いい

- 歩車分離など交通安全対策を促進する
  - ・歩車分離を進めないと危険である
  - ・後ろからの自転車のベルでは避けられない
  - ・堀川商店街は危ない
  - ・中立売通は、自転車は走れない

【安心して暮せるまちについて】⇒挨拶・声掛けが気軽にできるまちがいい

- ・気がついた方が、挨拶、声掛けを続けることが重要である
- ・朝の立番
- ・困るという方に対して、どう対応するか
- ・障害者も顔を覚えてもらうことがプラスになる
- ・今の子供たちは挨拶をしない
- ・挨拶はコミュニケーションの第一歩のきっかけである

- ・習慣の問題がある
- ・声が頼りなので、もっと声掛けがあればよいのでは